

第 4 回 田辺市都市計画マスタープラン策定委員会 会 議 録

日時:平成 21 年 5 月 20 日(水)

14 時 00 分から 16 時 00 分まで

場所:田辺市役所 本庁4階 第1委員会室

1. 開会

(1)田辺市建設部 より挨拶

田辺市建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、第 4 回 田辺市都市計画マスタープラン策定委員会に、ご参集下さいまして、誠にありがとうございます。 ・今回は、「まちの将来像」「まちづくりの方針」「地域別構想の地域区分」等について、ご議論していただくことを考えております。 ・皆様の活発な議論をいただくことをお願いし、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。
--------	---

(2)委員長あいさつ

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・みなさんの活発な議論を頂ければと思います。
-----	--

2. 議事

(1)策定委員会(第 3 回)の内容について

(資料) 第 3 回 田辺市都市計画マスタープラン策定委員会 会議録

〈質疑応答〉

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域の話だが、この策定委員会では、これ以上のこの話の議論をしないということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの会議を踏まえ、本日の資料で示しているように都市計画マスタープランの中では、「都市計画区域のまとまりのイメージ」として方針づけを行っており、具体的な検討は、平成 22 年以降に区域の見直し作業で行うこととしています。

(2)田辺市中心市街地活性化基本計画の概要について

(資料) 田辺市中心市街地活性化基本計画の概要 パンフ

〈質疑応答〉

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「回遊性の向上」「交流人口」などの言葉がわかりにくい。一般市民には馴染みのない言葉である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の増大は、田辺市に来ていただく方を増やすということである。また、回遊性の向上は、市街地の様々な場所を散策して頂くようなことである。 ・観光パンフ、地域のコミュニティ紙などには、もう少しわかりやすい内容や表現になると思われる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・回遊性の向上に関連して、和歌山大学では和歌山市の街なかでオープンカフェを開いている。回遊性は、まちをクルクル歩き回ってもらうなど「まち歩き」をして頂くことであり、まちのなかにある時間、留まって頂くこと(滞留性の向上)をイメージしている。

(3) 策定委員会(第4回)資料について

田辺市都市計画マスタープラン策定委員会(第4回)資料

まちづくりの課題の設定

まちの将来像(案)

《質疑応答》

委員	<p>・前回からはよくなったと思うが、まだ難しい言葉などがある。「環境負荷の少ない都市づくり」は「緑豊かな」くらいの方がわかりやすい。「地震・津波・洪水などの自然災害」の災害は人が関係しており、「自然災害」より「災害」とした方が良い。「市内の観光や交流を充実」の交流の意味を明確すべきで、例えば、「人々との交流」に修正してはどうか。「それらの恩恵から文化を」は、からという表現が気になる。「訪ねたい」と思える」は、俗っぽいので、「思われる」などが良い。</p>
委員長	<p>・文言的にわかりやすくという指摘だと思うが、事務局としてはどうか。</p>
事務局	<p>・本計画は、市民にとってわかりやすくする必要があり、ご指摘の部分も含め再検討する。なお、「環境負荷の少ない都市づくり」は、緑の充実のみではなく、まち歩きにより都市の排気ガスの抑制の意味あいも含めており、表現・表記を含め検討する。</p>
委員	<p>・教育拠点は少なくとも、「ビッグ・ユウ」と建設が予定されている「複合文化施設」の2施設は必要だと思う。やはり、これからのまちづくりは、観光と教育が重要だと考え、教育拠点を位置づけることで、周辺の都市から人を呼び込んでくる方策にも利用できる。こうしたことから、教育拠点を、本計画の中で位置づけておくことは、意義あることだと思う。</p>
事務局	<p>・学校を中心に考えていたので、再度検討する。なお、地域別構想の地域区分を本日、案として提示するが、各地域には、学校が少なくとも1つあり、各地域の特色が記載できればと考えている。</p>

(4) 策定委員会(第4回)資料について

田辺市都市計画マスタープラン策定委員会(第4回)資料

まちづくりの方針と考え方

《質疑応答》

委員	<p>・用途地域内の農地の扱いだが、農業振興地域から外れており税が高く農業施策の公的支援もない。これまで個人で道路整備を行ったり、道路整備のために無償で用地を提供したりしたと聞いている。行政として少しでも支援することはできないのか。</p>
事務局	<p>・用途地域内は、基本的には積極的に農業環境を整備するところではないと位置づけられている。道路整備に関しては、市道として整備するなど、耕作者の不利にならないよう、担当部署と調整していきたい。</p>
委員	<p>・郊外地の大規模店舗がなぜ、商業地に位置づけられないのか。 ・「立地誘導を促します」は、「立地環境を整えます」の方が現実的だと思う。また、「後背地の市街地環境」は、「後背の市街地環境」の方が的確に表現できると思う。</p>
事務局	<p>・田辺市としては、中心市街地への商業集積を考えており、郊外に積極的な商業の誘導は考えていないので、このような表現をしている。 ・表現方法については、ご指摘を参考に再検討する。</p>
委員長	<p>・都市計画法ができた当初は、混在型の土地利用を前提にして計画されていた。これは日本の都市計画の特徴であり、土地利用の調整が難しい状況になっている側面もある。</p>
委員	<p>・河川に関連するが、元々の遊水地に対する行政指導をどのように考えているのか。 ・市街地整備に関連するが、歩いて廻れるまちとして、車の通らない通り</p>

	<p>をつくることは考えていないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「田辺新地」などの江戸時代からの城下町」であるが、田辺新地は大正になってから形成されたため、表現を修正すべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・遊水地の多くは現在農地であり、宅地化の際には厳しい開発基準があり、それに基づき許可される。また、河川整備など総合的な治水対策を行っている。 ・駅周辺の駐車場の有効活用や歩道の整備など、まち歩き環境強化は検討しているが、歩行者専用道路(いつも歩行者天国)のような通りを設定することは現時点では考えていない。 ・田辺新地の表現は、ご指摘の通りであり、修正する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子供連れの家族の方にも配慮した計画が必要で、移動しやすく、快適に滞在できる街なかの形成を検討すべきと思う。(例：公園のトイレ内に乳児を固定する用具の設置)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もそうしたことにも配慮してまちづくりを進めていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの記述であるが、具体的な表現はできないのか。バス停にシェルターやポケットパークの整備を考えて頂きたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のまちづくりは、使う側の立場に立った、きめの細かい施設整備も必要だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策などは、いつまでに行うなどの表現があればいいと思う。また、人口減少などまちの衰退が最も良くないことであり、若い人にとって魅力あるまちづくりを前面に出すなど、自信を持って定住促進と言える内容になればいいと思う。(例：子育て、教育、交通)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本マスタープランでは、10～20年後のまちをイメージした計画を示している。子育て、公共交通などについては、専門の分野もあるため、それらの部署と連携しながら、ご意見の参考にして、より具体的な内容が記載できる部分ないかを再考する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者が少ないのは感じている。そうした路線に市の支援を続けていくことは市としても大変だと思う。しかし、交通弱者の関係でバスの重要性は高まると思う。また、駅前広場も整備するようなので、期待している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・対極的なまとめ方を提案したいと思う。まちづくりの基本理念とまちづくりの目標にあるキーワードがまちづくりの方針の部分にどう関連づけがされているのかが、不明確で計画自体に説得力がない。例えば、住みたいと思えるまちづくりの目標にむけて、どのような方策を実施しようとしているのかである。 ・既存施設など現状の事柄と将来的な事柄が区別されることなく、まちづくりの方針に記載されている。現状を踏まえ、将来、こうした施策を行うことにより、まちづくりの目標につなげるといったストーリーでないといけないと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・私なりに意見を解釈させて頂くと、都市計画と都市政策とのリンクをさせる必要があり、理念と各論(行動)をしっかり結びつけて考えることが必要ではという意見だと理解した。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この件については、事務局としてよく検討した上で対処していきたいと思う。次回には、何らかの回答ができるように考える。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標にきっちり記載されているので、これをベースにしてまちづくりの方針で関連性を明確化にすれば良いのであって、関連性をきっちり整理できない部分はそのままでも良いと思う。例えば、住宅や商業は関連性を持たせることはできると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「森林の保水力の向上」との記載があるが、具体的な方策を聞かせて欲しい。 ・芳養川や会津川などの河川がきれいになってきたと聞いている。

	梅加工工場の排水基準についての具体的な内容などを聞きたい。
事務局	・まちづくりの方針では、まち全体の総合的な方針を記述している。森林については、本計画は都市計画のマスタープランであり、詳細な内容の記述は考えていない。また、森林や河川の個別内容については、担当部署が詳細に検討しているため、確認し連絡するなどの対応を行いたいと考えている。排水基準については確認しておく。
委員	・感想として聞いて頂きたい。計画自体に個性が弱いと思うが、こうにしなければならないよう気がする。
委員長	・個性を出すことは難しく、偏ってしまうこともあり、充分の注意が必要となる。このため、結果、個性が薄れてしまった計画書ができたといったケースは多いと思う。しかし、個性を出すように努めることは重要だと思う。
委員	・人口減少時代や財政状況が厳しいなど今後、事業を絞り込む必要があり、そうした中での計画である。目標に関連した個別計画を網羅的に記載することには、無理があると思う。この会には、各団体からの代表が集まっており、この内容だけは盛り込むようになど、少ない予算の中から、何ができるかを委員から提案するくらいの方が良いのではと思う。また、抽象的でもしっかりとした方向性を示せば良いと思う。感想として聞いて頂きたい。
委員	・副委員長と同感であり、都市計画と都市政策を関連させる必要がある。 ・生活拠点を軸である道路でつなぐといった特徴的な都市構造であり、その拠点が都市拠点（中心市街地）である。20年後の将来を見据え、都市拠点を如何に機能させていくかが、ポイントだと思う。

(5) 策定委員会(第4回)資料について

田辺市都市計画マスタープラン策定委員会(第4回)資料
地域別構想の地域区分(案)

《質疑応答》

- 特になし -

3. 閉会

事務局より挨拶

以上